

今月の授業は、

教科書で学習した表現を、
実際の会話につなげるために！

横浜市立港南台第一中学校 下川教諭の中学1年生の授業を見学しました。

授業概要

- ・ 中学1年生 36名のクラス
- ・ 最初に、その日の日付や天気などを英語で応答するなど、ウォームアップ。
そして教科書で学習した“You can do it.”を、基礎英語 LEADにある、教科書とは異なる場面設定のスキットを使って、自分たちの感情表現につなげました。

授業で使ったスキット：基礎英語1 2001年度 10月放送分

Susie : OK. That's (20) push-ups. (Let's) do some sit-ups now.

Andy : More exercise? OK, (how many)?

Susie : How about (30)? OK, hands behind your (head) and one, two, three.

Andy : I give up.

Susie : What! Come on, Andy! (Don't) give up! (You can do it)!

Andy : It's no use, Susie. My mind (says) yes, but my (body) (doesn't) agree.

★ 授業では、(20) や (Let's) など既習単語や表現のうち、何か所かを空欄にしたプリントを用意。生徒の反応を見ながら音声を4回聞かせて、ディクテーションを行いました。

★ 本時での学習対象は“You can do it.”ですが、三人称単数の復習として、(says) や (doesn't) も空欄にしました。

You can do it. を自分の表現へとつなげる

ディクテーション後、スキット内容が理解できているかを確認。

↓

You can do it. は、どんな意味なのか考えさせ、「他人を応援する言葉がけ」であることを理解させる。

↓

クラス全体でスキットのリーディング練習を行ったあと、ペアで練習。

↓

基礎英語 LEAD のスキットベースにした、ミニスキット台本を配布。

それを参考に4人一組で、自分たちのオリジナルスキットを作成し、練習。

↓

それぞれ自分のセリフを暗記し、発表。

松岡修造さんの写真を見せ、
You can do it. という表現の
イメージづけをさらに強化！

登場人物の数が増え、また、
エクササイズの種類や数が
選べるようになっていました。

授業後、先生にうかがいました！

基礎英語 LEAD をどのようにお使いですか？

困ったとき、行き詰ったときに使います。授業のリズムを変えたいとき、授業のアクセントとしてですね。さらに、テストでも使っています。

基礎英語 LEAD を活用するメリットはなんですか？

リスニング教材としての、音のバラエティが豊富なところがいいですね。授業では主に、ディクテーション素材として使っていますが、生徒同士のリーディング練習や、会話ゲームで使うこともあります。

授業見学後、横浜市港南区中学校教科別研究会に参加させていただきました。複数の先生方から、基礎英語 LEAD に関する質問・要望をいくつかいただき、その関心の高さに驚きました。今後、そのご意見をとりいれながら、より活用しやすいシステムとなるように改善していきたいと思っております。

